

# ❁ 議会だより

第44号

## 木津川市議会



**5月19日(土)**

9:30～11:30 市役所

13:30～15:30 加茂文化センター

13:30～15:30 山城支所別館

**市民と議会のつどい**  
**お越しください**

**小学校の勉強が楽しみです**

**(南加茂台保育園)**

職員と特別職の給与減額	本 会 議	2～5
教育環境の整備	予算委員会	6～7
リサイクル研修ステーションの廃止	常任委員会	8～10
会派代表質問		14～18
12人が市政を問う	一 般 質 問	19～25

# 職員給与を減額

3月定例会は、2月22日から3月23日まで、30日間の会期で開催した。  
同意4件・議案43件・議員提案1件を審議し、同意・可決した。

## 30年度 一般会計予算

総額は、283億3600万円で、前年度より13億5200万円の減額となった。

減額の主な理由は、大型継続事業のクリーンセンター整備が完了に近づくことによる。

重点施策として、新学校給食センター建設や普通教室のエアコン設置、市内全域の防犯灯のLED化、木津老人福祉センター耐震補強等工事など。

## 反対討論

市民と職員にガマンを強いる予算だ。職員給与削減は、市民にガマンと負担を強いる露払い。一方、北陸新幹線建設など大型開発には熱心だ。

宮嶋 良造



9月供用開始予定の環境の森センター・きづがわ

## 賛成討論

普通教室エアコン設置等の学校教育・子育て支援の充実を図ると同時に、

財政再建のための固定費削減等の施策を盛り込んだ予算であり、賛成。

森本 隆

## 反対討論

新たな施策が唐突に出され、反対の声を無視して予算化された。行政と市民、職員との協同が破壊されていくことを強く批判し、反対する。

酒井 弘一

## 賛成多数で可決 (賛成15人・反対5人)

## 職員の給与減額

財政非常事態との認識のもと、職員の給与を3年間2%減額する。30年度は総額6251万円。

職員組合との合意は、できていない。

## 反対討論

今回の賃金2%カットは、組合と妥結に至っていない提案であり、内容、

必要性、導入までの期間と手続きの妥当性からも、不当労働行為に値する。

河口 靖子

## 賛成討論

職員の給与水準は、2%カット後も近隣他市と同等水準が維持される見込み。市の厳しい財政状況を考えたとき、3年間で限定対応であり、賛成。

森本 隆

## 反対討論

職員は給与削減より手続上の間違いに強く反対し抗議している。市長が職員への説得を放棄し、ツケと責任を議会に転嫁することは許されない。

酒井 弘一

## 賛成多数で可決 (賛成13人・反対7人)

# 厳しい財政状況

## 特別職の給与減額

市長、副市長および教育長の給料月額を3年間で10%減額する。30年度は総額518万円。

賛成多数で可決

## 国民健康保険の府一元化

国民健康保険法等の改正に基づき、30年4月1日から新たに都道府県が保険者に加わるもの。

Q 府一元化は、将来的に保険税が上がる仕組みではないか。

A 安定した財政運営と安心の医療を目指す。

## 反対討論

府一元化は、市に給付費抑制・収納率向上・一般会計からの繰り入れ解消を指導し、市民の負担増と徴収強化を推進するのが、導入の狙い。

宮嶋 良造

## 賛成討論

将来にわたり医療保険制度を持続可能なものとし、堅持していくために、必要な制度改革であると考え、賛成する。

長岡 一夫

賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 国民健康保険予算

総額が69億91万円で、前年度より12億3891万円の減額となった。

国保の府一元化で、国の交付金の多くを府が受け入れるため。

## 反対討論

付属資料で国保税率がすでに決まったものとして記載されているのは問題。制度が変わるとき、国保税の引き上げを前提とした予算案には反対。

森岡 譲

## 賛成討論

被保険者の税負担を緩和するため、一般会計か

らの繰り入れが継続され、市が担う適正な事務事業を執行するのに必要な予算となっているので賛成。

長岡 一夫

## 反対討論

国保は、低所得者が多いのに保険税が高い。退職者の多くも加入する。一般会計から繰り入れ、支えることが必要。国保税値上げの予算は反対。

宮嶋 良造

賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 国民健康保険 税条例の改正

30年度からの国保制度改革に基づき、府が示す標準保険料率を参考に、市の国保税率等を改定するもの。

## 反対討論

社会保障としての国保を守るため、これ以上の値上げは認められない。激変緩和は行われるが、

一般会計からの繰り入れで値上げはやめよ。

森岡 譲

## 賛成討論

国保財政は逼迫しており、改正により円滑な制度移行と安定化が図られる。試算では現状と比べて1%以内の増額幅に留まり、適正と判断する。

谷口 雄一

## 反対討論

医療費の給付の伸びは国全体の傾向であり、国保の仕組み自体が問題。6年間の激変緩和後は大幅値上げとなる。府一元化での値上げに反対。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 後期高齢者医療予算

総額が8億3759万円で、前年度より8146万円の増額となった。増額の主な理由は、国の特例措置による軽減の

見直しと、限度額の引き上げ。

歳出の主な内容は、歳入で受け入れた保険料および、保険基盤安定繰入金の広域連合への納付金7億7342万円。

## 反対討論

特例軽減が廃止・縮小され、保険料を引き上げる。課税限度額は62万円に引き上げ、平均保険料は上がる。高齢者の苦しい生活に打撃となる。

宮嶋 良造

## 賛成討論

府後期高齢者医療広域連合が保険者であり、広域連合における剰余金や府からの基金46億円を充て、保険料を抑える取り組みをして決定。

長岡 一夫

賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 介護保険予算

総額は、47億6491万円で、前年度より3786万円の増額となった。保険料は基金を繰り入れることにより据え置きとなった。

## 全員賛成で可決

## 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億4229万円減額し、総額を299億9878万円とする。（審査内容は12ページ参照）

## 反対討論

当初予算で計上された土砂災害警戒区域内の世帯で高齢者のみの世帯等に対して、貸与すべき防災行政無線戸別受信機の予算全額の減額は反対。

谷川 光男

## 賛成討論

不要見込み額の減額を主とした補正予算だが、

戸別受信機は、より良くするための見直しであると理解し、早期に事業実施されることを望む。

長岡 一夫

## 反対討論

市民が待ち望み、また不安解消のための戸別受信機や子育て支援センターが、補正予算の中でいとも簡単に覆されることはあってはならない。

西山幸千子

## 賛成多数で可決

（賛成13人・反対7人）

## 出張時の

## 日当などを廃止

職員等の出張時に支給している旅費のうち、日当および食卓料を廃止するもの。

Q 出張すれば身銭を切

って、仕事をしなければならぬ。

A どこで、仕事をして

も食事は取るものである。

## 反対討論

府内自治体で日当廃止はわずかだ。食卓料の廃止はない。身銭を切ることになる。それより特別職や議員の宿泊料の特別扱いをやめよ。

宮嶋 良造

## 賛成討論

職員から提案があり、行財政改革の視点から、歳出削減策であると評価する。また府や京田辺市、大阪市でも行われており、理解を示し賛成。

森本 茂

## 賛成多数で可決

（賛成15人・反対5人）

## 職員駐車場使用料の値上げ

職員駐車場の見直しに伴い、駐車場使用料の改定を行うもの。

Q 月額3600円の根拠は。

A 公平性を重視し、市民に説明できる単価に設

定した。

行政財産使用料を加算した。

## 反対討論

行政財産使用料という新たな考え方は歯止めのない値上げにつながる。行政は職員の福利厚生事業をもっと手厚く行うべき。反対。

酒井 弘一

## 賛成討論

職員駐車場は自己負担が原則。周辺相場は月額7500円であり、現行2千円を駐車場賃借料に見合った額3600円にアップすることに賛成。

森本 隆

## 反対討論

職員駐車場の使用と料金は、職員の福利厚生の一部であり、一方的な値上げは、労働条件の一方的な変更で認められない。

宮嶋 良造

## 賛成多数で可決

（賛成16人・反対4人）

## 副地域長を1人に

副地域長の設置人数を原則どおり1人とするもの。これにより、役割の明確化を図り、これまで以上に円滑な自治活動の推進、ならびに円滑な市政運営につなげる。

A 地域長を支えるための補佐役として、副地域長を1人とするもの。

## 反対討論

現行の制度で9年間が経過。特段の問題は生じていない。無理やりに副地域長を1人にそろえることは、住民自治に対する行政の乱暴な介入。

酒井 弘一

## 賛成多数で可決

（賛成11人・反対9人）

Q 複数の副地域長がいるなら、各地域に市が相談に入ればよいのではないか。



9月末に廃止のリサイクル研修ステーション

## リサイクル研修ステーションの廃止

建物の老朽化と設備の経年劣化が進んでいる。公共施設の維持管理・改修経費の削減を目指す。

**Q** 活動には拠点が必要。新たに拠点を設けるのか。  
**A** 考えていない。巡回型で運営する。

### 反対討論

ごみ減量化や資源化を向上するには、来館型を発展継続することである。廃止では悪化する。

九社前串朗

### 賛成討論

ごみ減量の研修を目的とした効果が期待できない。環境に関する広報や教育活動は必要な事業だが、必ずしも本施設で行う必要はないので賛成。

高岡 伸行

### 反対討論

クリーンセンターが、秋から本格稼働。市民により一層のごみ減量を求

めている時に拠点があることは啓発につながり、市民の協力が得られる。

西山幸千子

### 賛成多数で可決

(賛成14人・反対6人)

## 廃棄物の減量及び適正処理等の条例改正

新クリーンセンターの試運転期間において、事業系一般廃棄物等の受け入れを本市で行えるよう手数料を設定するもの。

### 反対討論

何が家庭系可燃ごみかの定義がない。持ち込みごみと収集ごみの分別が違うのはおかしい。ごみ有料化は中止し分別徹底でごみ減量を進めるべき。

宮嶋 良造

### 賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 消防団員等公務災害補償条例の改正

30年4月1日から、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額は、扶養親族がある場合、加算額を改定する。

### 反対討論

昨年、私たちは加算額が減額しない修正案を提案。扶養手当で加算額が増減し、一部で減額。公務災害で補償が減額されるのはおかしい。

宮嶋 良造

### 賛成多数で可決

(賛成16人・反対4人)



消防団出初式

## 排水ポンプユニットの買い入れ

木津合同樋門等の樋門閉鎖時の内水排除対策として、排水ポンプユニット(毎分5立方メートルを2台)3セットを329.4万円で購入。

合同樋門の排水能力が毎分250立方メートルとなる。

### 全員賛成で可決

## 教育長の任命

森永重治氏を教育長に再任するもの。

### 反対討論

予算執行権と人事権を握る市長が直接新教育長を任命したことで、会議も財政面が強調される。選任方法と会議のあり方をチェックすべきで反対。

西山幸千子

### 賛成討論

小・中学校での耐震化やICT教育の推進により実績を残してこられた。いじめ問題では実情に応じた実効性の高い対応をお願いし、賛成。

高岡 伸行

### 賛成多数で可決

(賛成15人・反対5人)

## 議員定数・報酬検討特別委員会の設置

### 提出者

高岡 伸行・西岡 政治  
森本 茂・島野 均

### 設置の目的

・議員定数のあり方  
・議員報酬のあり方

### 自由討議を実施

特別委員会設置の意図を主に議員間で議論。

### 反対討論

議員定数と報酬の何をどう検討し、何を決めるのか具体的提案がない委員会の設置は不要だ。

宮嶋 良造

### 賛成多数で可決

(賛成16人・反対4人)

## 人事案件

教育長(任期3年)

・森永 重治

教育委員(任期4年)

・小松 信夫

財産区管理会管理委員

旧北村旧兎並村旧里村

財産区

・石井 進

(加茂町里)

旧当尾村財産区

・吉田 義次

(加茂町南下手)

・西 恭司

(加茂町北下手)

# 厳しい財政の中 教育環境を整備

## 予算特別委員会

3月15日・16日・19日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。(委員長 倉克伊・副委員長 西岡政治)  
 283億円の一般会計を審査し、賛成多数で可決した。

### 主な質疑

#### 防犯灯のLED化

市長直轄組織・マチオ  
 モイ部・総務部・行政  
 委員会・議会事務局

#### 通減基金の活用

**Q** 普通交付税合併算定  
 替による減額はいくらか。  
 減額分は合併算定普通  
 減対策基金で対応できる  
 のでは。  
**A** 約6億円。基金は2  
 025年まで活用する。  
 基金の目的は、通減を  
 ゆるやかにしていくため  
 の財源とすること。

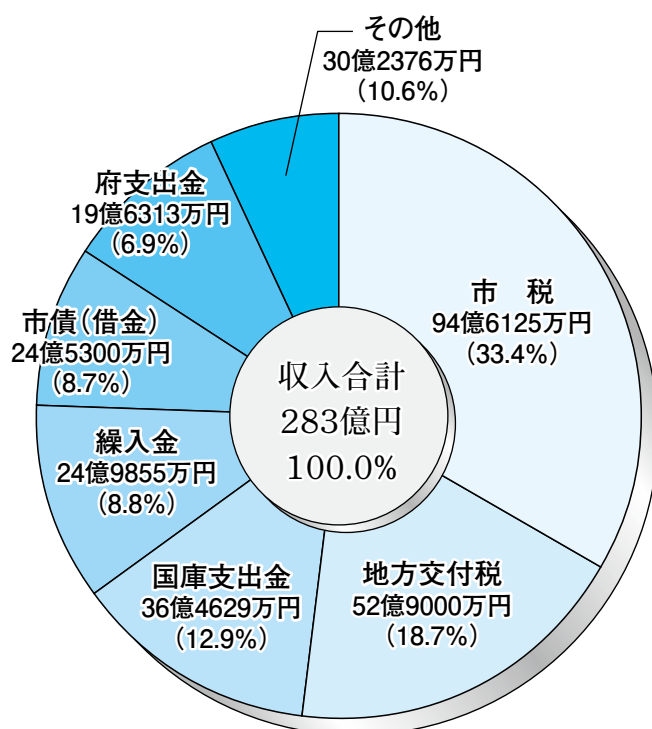
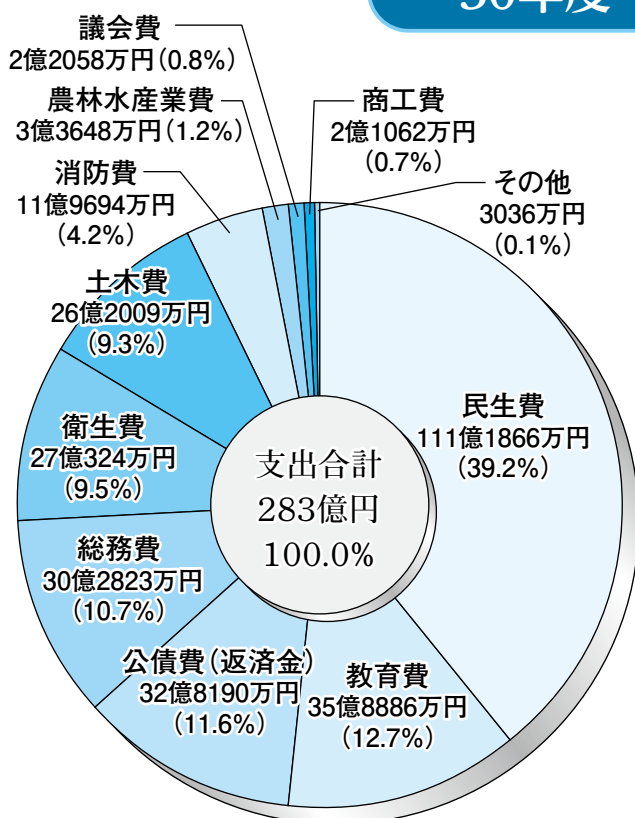
**Q** 現在、防犯灯をLED  
 化したのは何基か。30  
 年度のスケジュールと市  
 内事業者の活用は。

**A** 現在、約千基ある。  
 3、4年かけてLED化  
 する予定であったが、格  
 差をなくすため地域活性  
 化事業債を活用し、単年  
 度で実施。設置にあたっ  
 ては地元事業者を積極的  
 に活用したい。

#### 当尾地域活性化 協働モデル事業

**Q** 当尾地域活性化モデ  
 ル事業の内容は。  
**A** 当尾の郷会館クリエ  
 イションプロジェクトは、  
 部屋を活用し作家活動を行  
 う。当尾地域力創造プ  
 ランは、地域で活動して  
 いる方々が、特産品を利  
 用した商品開発を行う。  
 いずれも地域の魅力発  
 信、活性化につなげるた  
 め地域と一緒に取り組ん  
 でいきたい。

## 30年度一般会計予算



(万円未満は切り捨てのため合計金額は一致しません)

## 敬老会

Q 30年度から、山城地域敬老会もけいはんなホールで行う予定だが、今年度行われた木津地域の参加者の出席率と感想は。

A また、加茂地域も1回で行う方が、参加者の交流もあり、メリットがあるのでは。

A 木津地域の参加者は、前年度に比べ119人の増加。民生委員からは、会場が広く椅子、音響も良いとの感想であった。山城地域は参加者が増え、席を確保できなくなってきたため変更する。

## 病児保育事業

Q 民間保育園で行われる病児保育事業の内容と受け入れ人数は。

A 梅美台、州見台さくら、さくらの森の3ことも園で実施。在園児が対象で、園で病気になる、

保護者が迎えに来られない時など、園で預かる。看護師を配置し対応。

## 支所の運営

Q 支所の人件費が減額となっているが理由は。

A 両支所とも3係から1係にスリム化にする。

4月と10月の2段階で体制を変更。市民には変更を周知する。

## 建設部・教育部・上下水道部

## 内水対策事業

Q 新旧反田川合流部の逆流防止対策の概要とスケジュールは。

A 合同樋門閉門時に新反田川から旧反田川への逆流を防ぐことを目的に、どのようにすれば良いか検討するもの。

30年度から検討を行っていく予定。

## 災害に強い森づくり事業

Q 治山施設整備事業の事業内容と場所は。

A 山城町綺田地内のダムの浚渫と危険木の伐採（0・6ha）を行う。

3カ年の事業で、30年度で終了。

## 教室のエアコン設置

Q 幼稚園・小中学校空調設備PFI事業の概要と稼働予定は。

A 現在、事業者を募集中。4月に業者選定。6月議会に契約議案を提出し業者を決定。31年夏ごろに稼働予定。458教室に設置する。

## ワード

## 債務負担行為とは

1つの事業や事務が単年度で終了せず、後年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合に、期間と額を設定し、後年度の負担を確約するもの。

## 反対討論

ごみ袋有料化や職員給与の減額など市民と職員に我慢を強いる予算。

## 賛成討論

懸案事業を進め、健全財政で次世代に引き継ぐよう取り組んでいる。

## 賛成多数で可決

## 一般会計予算の主な施策

## ◆教育

- \* 幼稚園、小中学校の教室空調設備整備  
(債務負担行為 2018年度～31年度)  
15億1400万円
- \* (仮称) 新学校給食センターの建設  
6億 620万円  
(債務負担行為 2018年度～19年度)  
20億8513万円

## ◆環境と調和

- \* 防犯灯のLED化 2億1267万円

## ◆道路網の整備

- \* 木津駅東地域の道路新設改良  
1億 745万円

## ◆地域文化の創造

- \* 観光振興事業 (木津川アート2018など)  
4869万円

## ◆福祉都市の創造

- \* 内水対策  
(排水ポンプ車、可搬式パッケージポンプ購入)  
9407万円

(万円未満の金額は切り捨て)



初めてけいはんなホールで開催

## 職員給与を 3年間2%減額

### 総務文教委員会

3月1日に委員会を開会し、  
議案16件、報告3件を審査した。

全議案可決

業であるが。  
**A** 駐車場は一部の職員の利用であり、公平性を保つ。

反対討論

労働条件の違反になる。

賛成討論

近隣と比べて高額ではない。

賛成多数で可決

### 職員等の旅費に関する 条例改正

出張時の日当・食卓料を廃止するもの。

全員賛成で可決

### 職員駐車場使用料の改定

1カ月当たり2千円から3600円とするもの。

### 臨時職員賃金の引き上げ

府の最低賃金が856円に引き上げられたことによる改定。

**Q** 駐車場は福利厚生事

○出張すれば身銭を持ち

**Q** 労使間の交渉の経過は組合を無視している。給与に手を付けるのは最後である。

賛成討論  
28年度決算は8億円の

全員賛成で可決

出すことになる。  
○労使の約束を守っていない。駐車場と合わせて二重の負担増になる。

賛成討論

現状の出張手当は高額。

賛成多数で可決

### 職員の給与を特例的に減額

**Q** 給与カットは平均いくらか。  
**A** 年額10万9千円。

**Q** 行財政改革は確実に図れるか。  
**A** 人件費6千万円に加えて、組織の見直し、民間委託等で、歳出の削減を目指す。

反対討論  
○人事院勧告によらない給与の変更は、職員の同意なしにはできない。組合との妥結が先である。職員を守るのが市長である。

**Q** 給与の減額はなぜか。  
**A** 28年度決算で、基金が8億円減った。緊急対策である。

**Q** 20%カットすべき。  
**A** 10%は懲罰処分の上限である。

**A** 無視していない。予算編成においてゼロベースから見直し、管理経費を徹底削減した。

**Q** 仕事へのモチベーションを高める対策は。  
**A** 年休取得率の向上、時間外勤務の削減等検討する。

**Q** 28年度補正後のラスパイレス指数は98・5。2%カット後は96・5前後と想定するが、京田辺市96・4と同レベルになるのか。  
**A** 同等になる見込み。

賛成多数で可決

### 市長・副市長・教育長の 給与を特例的に減額

**Q** 10%減額と3年間の根拠は。  
**A** 3年間は交付税合併算定替により減額される残りの期間。

基金減少であり、厳しい先送りではない。継続審査の動議が出されたが、賛成少数で否決。

## 行政地域設置条例の改正

副地域長の人数を各地域1人に統一。

## 報告案件

新学校給食センターの進捗状況

小中学校および幼稚園空調施設整備PFI事業の進捗状況

**Q** 今の規定を運用した方がよいのでは。

**A** 検証した結果である。

## 反対討論

現行のままでも問題点は解決できる。

賛成多数で可決

## 旧北村旧兎並村旧里村財産区特別会計予算

**Q** 5年に一度、加茂笠置組合より4500万円の繰り入れがあるが、財政調整基金はいくらになるのか。

**A** 2億1500万円の見込み。

全員賛成で可決

（他の3財産区も全員賛成で可決）



新学校給食センターのイメージ図

○設計施工  
現在、実施設計中

2019年2月に着工

予定

2020年度中

○設計施工  
現在、実施設計中

2019年2月に着工

予定

2020年度中

約100食含む

○調理能力 1日7千食

規模（アレルギー対応）

○設計施工

2018年7月から

2019年3月

○供用開始

2019年6月

## 相楽大徳公園を 供用開始

### 産業建設委員会

3月5日に委員会を開会し、議案6件、報告1件を審査した。

全議案可決

## 都市公園条例の一部改正

**Q** 今回追加される相楽大徳公園の面積は。

**A** 457平方メートル。

**Q** 管理は誰がするのか。

**A** 当面は市で管理するが、地元で管理を目指す。

## 水道予算

**Q** 収益的収入は16億9243万円、収益的支出は17億4543万円。

**A** 資本的収入は1億9766万円、資本的支出は5億9449万円。

**Q** 水質検査委託料が29年度に比べて増額しているのは。

**A** 水質監視装置点検委託料などで人件費の増加と消耗品部品の交換が重なったことによる。

全員賛成で可決

## 公共下水道予算

収益的収入は23億4868万円。前年比1・6%の減額。

全員賛成で可決

## 下水道補正予算

資本的収入は116万円減額、資本的支出は106万円増額で、予算総額は11億5543万円。

**Q** 工事中止の箇所は。

**A** 木津の国道24号の木津奈良道の交差点。国道工事が現在計画が立っていないため。

全員賛成で可決

## 水道補正予算

収益的収入および収益的支出をそれぞれ2126万円減額し、予算総額は17億3479万円。

**Q** 奈良市の受水費は定額か。

**A** 奈良市の水道料金は、1トン170円。その額で市も購入。

全員賛成で可決

# リサイクル研修ステーションを 9月末で廃止

## 厚生委員会

3月2日、委員会を開会し、議案16件を審査した。

全議案可決

### リサイクル研修ステーション条例の廃止

20年間活動してきたリサイクル研修ステーションを、9月末で廃止する。

**Q** 閉鎖によって、何が  
変わるのか。

**A** 年間320万円の経費削減。嘱託職員は本庁勤務になる。現在の建物にはシルバー人材センターと緑化協会が残る。

**Q** 活動の検証と関係団体との協議内容はどうか。  
**A** ハードの目的は達した。ソフトは巡回型に切り替える。団体の活動拠

点は建物1階に提供する。

**Q** 新しいクリーンセンターに活動拠点を置くべきだ。

**A** 国の補助金の関係でできない。まち美化推進課が拠点となる。

### 反対討論

ごみ減量の取り組みを強めようとするときに廃止はおかしい。

### 賛成討論

見直しや廃止の意見も続いていた。巡回活動でのごみ減量に期待する。

賛成多数で可決



廃止が決まったリサイクル研修ステーション

### 国保税条例の改正

4月から府が国保の保険者に加わる。税を年一人平均856円引き上げ。

**Q** 府試算では激変緩和交付金があり、税は下が

るはずだった。なぜ引き上げるのか。

**A** 医療費は年々増加し、27年度は赤字決算だった。基金も枯渇している。

今後の急激な引き上げを避けるため、今回の引き上げになった。

**Q** 府内の状況、税額の統一はどうなるのか。

**A** 府内市町村の税額は、大きな格差がある。府は、統一化はすぐにはできないと判断。

### 反対討論

これ以上の市民への負担は認められない。一般会計から繰り入れを。

### 賛成討論

今後の医療費の増加も考えられる。適正な運営を望む。

賛成多数で可決

### 国保予算

府一元化することで、これまであった共同事業拠出金がなくなるため、12億円減少し、69億円規模に縮小。

**Q** 人間ドックの利用状況は。ジェネリックカードを取り入れるべきだ。  
**A** 1700人。カード

はメリットがあるので、検討する。

### 反対討論

付属資料の文言は議会軽視。税を引き上げ市民に負担を増やすので反対。

### 賛成討論

一般会計からの繰り入れも行っている。府一元化に必要な予算。

賛成多数で可決

### 介護予算

47億円規模。1号被保険者の保険料は、基金を繰り入れて据え置く。

**Q** 認知症カフェの委託が増えている。理由は。

**A** カフェは3つ運営。山城地域以外の2つの地域も4月から民間委託に変更する。

全員賛成で可決

# 30年3月 施設の完成を目指して

(進捗率93%)

クリーンセンター建設特別委員会

3月6日に委員会を開会し、議案1件を審査した。  
また、進捗状況の説明を受けた。

## 報告案件

12月～2月の施設整備  
工事の状況

### ①建設工事

工場棟の器具設置、内装、見学者用入口の整備、計量棟・車庫の建築等。

### ②プラント関係

仮設電源から順次切り替え、機器の静調整、I・TV設置、保温工事など。

Q 見学者設備は。また、リサイクルの展示は。

A 処理の流れが分かるよう見学者通路に窓を設置。ごみ減量や循環型社会を促す展示を検討。

Q 府道の拡幅は。

A 市として優先順位を上げて、要望している。

Q 新センターの稼働により、環境負荷の低減が図られるか。

A 発電設備の備えで、二酸化炭素の排出を低減。

## 委員会がスタート

議員定数及び議員報酬  
検討特別委員会

2月22日、議員発議により  
委員会を設置。  
3月6日、委員会を開会し、  
今後の進め方等を協議。

### 委員会の進め方

定数についての議論を行い、その後、議員報酬についての協議を行っていくことを決定。

### 議員定数

現在の定数 22人

### 議員定数の推移

19年	26人
22年改正	24人
26年改正	22人

### 議員報酬（月額）

議長	47万円
副議長	38万円
議員	35万円

今後の審議の参考として、全国の市議会の議員定数と報酬の資料を配布した。

委員長		副委員長		委員		委員	
倉	克伊	西岡	政治	高岡	伸行	長岡	一夫
片岡	廣	島野	均	宮嶋	良造	山本	和延
森本	茂	九社	前事朗	西山	幸千子	長岡	一夫
森本	茂	九社	前事朗	西山	幸千子	長岡	一夫
森本	茂	九社	前事朗	西山	幸千子	長岡	一夫
森本	茂	九社	前事朗	西山	幸千子	長岡	一夫
森本	茂	九社	前事朗	西山	幸千子	長岡	一夫

# 防災無線戸別受信機設置を見送る

## 補正予算特別委員会

3月7日に委員会を開会。29年度一般会計予算を2億4229万円減額し、299億9878万円とするもの。賛成多数で可決。

### 主な質疑

#### 防災行政無線戸別受信機

Q 事業実施を考え直した理由は。

A 整備のあり方、現行システム機能の有効活用を図るため。

Q 今後の考え方は。

A 最も有効な情報提供手段を検討する。

Q 住民への周知方法は。

A 防災訓練、集会等で説明する。要請があれば、戸別訪問を行う。

#### 木津西部子育て支援センター設置を延期

Q 子育て支援拠点はどのような。見送った理由は。

A 充実した内容で開始できるように計画を進めた。相楽保育園の子育て世代包括支援センターへの移行も含めて、それぞれの事業内容を精査するため延期した。

Q 保育園の臨時職員と児童クラブの指導員の減額理由は。

A いずれも予定児童数により当初予算で計上したが、フルタイム雇用の人材不足等により減額となった。

Q 太陽光発電・蓄電設備の設置状況は。

A 10件の予定であったが、30件の申し込みで増額した。

Q エコリフォームによる設置を一般の家にもPRすべき。

A 広報を通じて今後もPRを行っていく。

#### 保育園・児童クラブの人件費の減額

Q 保育園の臨時職員と児童クラブの指導員の減額理由は。

A いずれも予定児童数により当初予算で計上したが、フルタイム雇用の人材不足等により減額となった。

#### 合併処理浄化槽設置

Q 設置は何基か。

A 予算は37基分計上。設置は21基の予定。

#### 農業経営に意欲的な認定農業者に補助

Q 農業担い手への支援策の内容は。

A 九条ネギ栽培のため



6月から使用再開の中央体育館

のトラクター、運搬車、草刈り機等の購入に補助。

#### 中央体育館改修工事費大きく減額

Q 9900万円の減額理由は。

A 屋根改修、外構補修等、基本設計で予算を計

上していた。実施設計で差異が出た。

#### 山城めくもりの里のり面の復旧

Q これまでの崩落の回数は。また工事費増額の要因は。

A 旧町時代を含め5回。復旧を進める中で、予算不足を避けるため。

#### 反対討論

予算の組み方や執行の仕方に矛盾がある。

賛成多数で可決

### 補正予算の主な事業

- ・ 防災行政無線戸別受信機設置 5377万円減
- ・ 木津西部子育て支援センター設置 815万円減
- ・ 中央体育館改修事業 9900万円減

委員長		副委員長		委員		委員	
炭本	範子	酒井	弘一	谷口	雄一	長岡	一夫
西山	幸子	柴田	はすみ	山本	和延	伊藤	紀味枝
谷川	光男	片岡	克伊	倉			

## 採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成=○ 反対=× 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名(第1回定例会)														
		教育委員会教育長の任命	職員駐車場の管理及び使用に関する条例の一部改正	職員等の旅費に関する条例の一部改正	職員の給与の臨時特例に関する条例の制定	行政地域設置条例の一部改正	国民健康保険税条例の一部改正	国民健康保険条例の一部改正	リサイクル研修ステーション条例の廃止	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正	平成30年度一般会計予算	平成30年度国民健康保険特別会計予算	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	平成29年度一般会計補正予算第7号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	議員定数及び議員報酬検討特別委員会設置に関する決議
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河口 靖子	民主未来	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
炭本 範子	民主未来	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民主未来															○
西山幸千子	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
森岡 譲	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
宮嶋 良造	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
酒井 弘一	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
森本 茂	木津川	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島野 均	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
九社前隼朗	無会派	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
高味 孝之	議 長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
採決結果		同意	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団  
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員



森本 茂

Q 市長の3期12年の成果点数は

A 点数は市民につけていただく

額、全職員給料2%減額が提案されたが、職員のモチベーション低下と、住民サービスの低下につながるようなようにする対策は。残業の見直し。スパーでの研修と「すぐやる課」の新設を。

30年度の主要施策を問う

(質問) ①大仏鉄道開業120周年の懸垂幕を庁舎に。赤橋の市道に立て看板の設置を。

②文化財資料調査と史跡鹿背山瓦窯跡の開放とは。

③東中央線・木津東バイパス、大井手川改修工事の進捗は。木津安福寺前のガード下府道拡幅の早期実施を。城山台スパー「プラント」の開業予定は。

(市長・教育長) ①懸垂幕は寄贈を予定。立て看板は景観等を検討。

②調査に漏れていた文化財が中心。市民に開放。

③供用時期は未発表。大井手川改修は進んでいる。JR奈良線の複線化の中で検討。「プラント」は、

31年4月開業。

将来の観光計画を示せ

(市長・マチオモイ) ①ストーリー性を考え、作成を判断する。②レガシーと経済効果の永続性。加藤一二三氏の協力が必要。

③新たな財源確保を図る。④市民がつけるもの。



根本的な治水対策が進む隣町（17年度完成の下粕ポンプ場）

(質問) 長年の懸案であった新クリーンセンター建設は称賛に値するが、隣町では根本的な治水対策として祝園・下粕ポンプ場が整備されているが、本市の治水対策は。

①嫌悪施設が再度建設の鹿背山・法花寺野区の地価や農産品の風評被害、交通不安、負担の不公平解消は。環境保全協定の締結と、環境監視委員会の設置は。

②急務の治水対策を問う。25年と29年の2回、床上床下浸水被害が発生した。

内水対策と木津合同樋門の根本対策を急げ。

③急務の財政対策を問う。30年度三役の給料10%減

31年4月開業。

将来の観光計画を示せ

(質問) ①明治維新150年により先達のパンフレット作成を。

②「十二単衣美人大会」

や「ひふみん杯将棋大会」を。

(市長・マチオモイ) ①ストーリー性を考え、作成を判断する。②レガシーと経済効果の永続性。加藤一二三氏の協力が必要。

③新たな財源確保を図る。④市民がつけるもの。

30年度の主要施策を問う



島野 均

## Q 保育園等の受け皿は大丈夫か A 地域型保育事業で対応したい

(質問) ①人口の増加が予想される。2018年と19年度の保育の需要に対してはどう対応するのか。  
②予算付属資料の充実に、厳しい市の財政で、財政運営基本条例を制定しては。  
③将来、南海トラフ地震が予想されるが、災害に強いまちづくりのため、旧市街地の密集地の解消、耐震化は。計画だけでなく、戦略目標が必要では。  
(市長・教育長) ①今後、地域型保育事業で対応。②資料は検討する。条例を作るよりも、現在の計画や大綱を実施することによって、経営改善ができる。



住宅建設が進む城山台地区

③大震災に対して、食料、震改修、促進計画も昨年物資の運搬等企業と協定 3月から5年計画で進んでおり、木造耐震を強化し、備蓄する。建築物耐

し、耐震化率97%を目指す。満足度の高いまちづくりに取り組む。

テレワークの仕事推進を

(質問) ①企業誘致した15企業で、市民の雇用は何人か。地方自治体でも35都道府県がテレワークを導入している。本市でもテレワークの仕事ができる会社等を誘致しては。

委員会を設置し、文化財の活用ができるように検討を開始する。奈良市と包括連携し、奈良市より観光ルートで本市に来てもらえるよう、取り組む。  
③廃棄物減量推進員や各種団体と連携し啓発を行う。また、段ボールコンポストのモニター制度等で減量を図る。出前講座を進める。見学会も考慮する。

幼児教育の無償化を

②市の文化財の保護や活用をどのように展開するのか。観光客やインバウンドが増加する対策は。  
③10月に清掃センターが完成。市民のごみ減量や資源化の啓発の推進は。また、見学ツアーを計画し、意識改革を。

(質問) 国の「新しい経済対策パッケージ」の内容と子ども増加対策は。  
(市長・健康福祉部) 国では3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園・保育所・認定こども園の費用は2020年4月

(市長・教育長他) ①市内在住者採用は275人。誘致企業が製造・研究開発型産業施設であるので、テレワークはなじまないが、導入が可能な業務は進める。

月から全面無償化となる。地域型保育により、定員不足とならないよう整備を行う。

②2018年度に文化財悉皆調査に着手。19年度に歴史文化基本構想策定

高岡 伸行  
谷口 雄一  
森本 隆  
山本 和延  
伊藤紀味枝  
尾崎 輝雄  
倉 克伊

Q 厳しい財政状況の今後の展望は

A 財政健全化を最優先に位置付ける



尾崎 輝雄

をどのように見直しをされたのか。また、基本方針により、事業見直しを進められているのか。

(市長) 全ての事業をゼロベースで見直し、可能なものは30年度予算要求に反映させた。基本方針として財政基盤の構築と

(質問) 30年度の予算編成において、29年度と比較して、30年度当初予算

給与の削減理由は

(質問) 職員は、市の財政状況を理解しているのか。また、職員給与の削

減実施は理解しているのか。職員の意識改革が必要では。

(市長) 将来に向け、持続可能な財政運営ができるよう、行政自らの改革を行う。職員全員が財政状況の厳しさを認識している。

行財政改革に向けて

(質問) 行財政改革行動計画の策定、行財政改革を実効性あるものにするため、今後の進め方は。

(市長) 将来を見据えた持続可能な行財政基盤の構築、行財政改革行動計画は可能な限り数値目標を定め、公共建築物の保有延床面積28%削減を目指す。

Q 災害に強い消防・病院の配置を

A 消防署の候補地は城山台に



倉 克伊

(質問) 厳しい財政状況だが、捉え方は人によって違う。どんな状況か。改革案は。

(市長) 合併算定替の交

付税削減や扶助費などの増加、大型事業の市債返済が始まり、数年で経常収支比率が100%を超え、事業ができなくなる想定。改革プランは8月までに提示する。

面を。

(市長) 中部消防は城山台地区が適地との報告。病院の移転は考えていない。

商業施設の誘致を

(質問) 中部消防と山城病院を一体的に捉え、災害に強い地域への総合計

(質問) 市はJR棚倉駅周辺を都市拠点形成地域と定めた。生活に必要な商

き。空家対策も取り組む。

(質問) 市内の山間地域は、人口減少が見られる。都市からの流入を促進する施策を考えては。

(質問) 地域住民と行政が問題意識を共有し、協力して取り組むべき。空家対策も取り組む。



相楽中部消防署の移転に向けて

西岡 政治  
長岡 一夫  
河口 靖子  
炭本 範子  
高味 孝之

## Q 聖域なき行財政改革の中身は

### A 行動計画を策定し全庁的見直しを



河口 靖子

認できない。

② 6月議会に契約の締結議案を上程予定。31年3月に整備を完成し、6月稼働に向けて事業を進める。空調機器は冷暖房機器とし、ストーブの使用も含めて検討する。

③ 市道木852号木津駅前東線と市道木43号西垣外加茂線を南北に結ぶ路線の工事を開始し、引き続き市道木43号西垣外加茂線の整備に向け、用地買収を含めた協議を関係地権者と進める。

④ 先送りできず、基金も減るため身を切る決断。財政計画は、新市基本計画で公表済。

③ 木津中央地区とJR木津駅西側の市街地を結ぶアクセス道路の整備実施計画は。

④ なぜ職員給与費の削減を組合の合意なしに進めたのか。また中期的（5カ年）財政計画を市職員、市民に示し理解と協力を求めるべきである。

（市長・教育長）① 市内在住者、425人の雇用。家屋や償却資産も年々増加。経済波及効果は、確

（質問）① 企業誘致を進めてきたが、雇用と経済波及効果および税收効果は。

② 幼・小中学校の普通教室への空調整備は。また、空調は冷暖房整備か、冷房のみか。

③ 木津中央地区とJR木津駅西側の市街地を結ぶアクセス道路の整備実施計画は。

④ なぜ職員給与費の削減を組合の合意なしに進めたのか。また中期的（5カ年）財政計画を市職員、市民に示し理解と協力を求めるべきである。

（質問）組合との交渉の中で今回、人件費の削減は実施しないと約束したにもかかわらず、議会に上程した理由は。

（市長）市民の生活を守

（市長）① 30年度には、高

るため、基金は取り崩せず削減した。

市政運営の達成状況は

（質問）① 市の魅力を全国に発信とは。

② 高齢化社会の課題に対処し、健康長寿の実現は。

（市長）① 木津川アートに取り組んでいる。

② 在宅医療と介護の連携や介護予防サービス等を充実する。

旧3町の格差解消を

（質問）① 高齢化地域の活性化の施策は達成できるのか。

② 今年度、行財政改革で廃止や休止する施設は。

③ 合併した市として、市内全域を巡回できるコミュニティバスが必要であると考えるが検討を。

（市長）① 30年度には、高

（市長）① 30年度には、高

（市長）① 30年度には、高



にぎわいのあった環境まつり（リサイクル研修ステーション30年9月末閉鎖）

（市長）① 30年度には、高

酒井 弘一  
西山幸千子  
森岡 譲  
宮嶋 良造



森岡 譲

## Q 地域循環型経済の確立を

### A 商工会とも連携して進めている

(質問) 中小企業への支援と地域循環型経済の確立のために。

①住宅改修助成制度の創設を。

②小規模修繕契約希望者登録制度の創設を。

③公契約条例の制定を。

④計画的に公共施設の修繕を。特に、学校トイレの洋式化を。

⑤企業立地促進は、地元雇用の拡大になる運用を。

(市長・教育長) ①助成制度の計画はない。

②現在実施している「小規模作業」の登録制度と類似しているので配慮はできている。

③条例は考えていない。府の大綱を参考に、労働

関係法令の遵守に努める。  
④27・28年に洋式化率の低い学校を改修した。今後は、校舎の老朽化の改修時に検討。  
⑤現在、425人雇用されている。現在の雇用状況から要件の強化はない。  
安心・安全の街づくりへ

(質問) 自然災害や交通事故を未然に防ぐために。

①道路の損壊等は、速やかに補修すること。

②騒音の大きい道路は、排水性舗装をし、危険な道路の修繕を急げ。

③地元の要望や、信号機は積極的に。

④危険な崖などの調査を進め、その対策を。

⑤メガソーラーの対応は、地元の要求を充分聞き災害が出ない取り組みを。

(市長) ①日常のパトロールや住民等からの情報提

供で随時補修を実施している。

②排水性舗装の計画はない。危険な道路は交通量や状況により考える。

③地元からの要望は、現地確認を実施し、予算の範囲内で実施している。

④毎年、出水期前に災害危険予想地域の状況を調査し、防災関係機関の協力を得て、防災パトロールを実施。

⑤森林伐採に伴う下流域への影響も懸念されるので、府と市の連絡会議を設置。今後は、市と府が連携し、対応する。

福祉・医療対策のために

(質問) ①国保税は一般会計からの繰り入れで、引き上げない取り組みを。

②介護保険も今後も引き上げない取り組みを。  
③生活保護受給額を削減



旧木津町の住宅改修助成制度で改修された店舗

しないよう国に進言を。  
(市長) ①厳しい財政状況。財源の確保のため、税率を改定。  
②基金を取り崩し、保険料は据え置き。  
③国が定めた基準で適正に対応する。

一般質問

12人が市政を問う



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

インターネットで市議会の  
生中継や録画配信が  
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索



余裕教室の有効な活用を

ガイドラインの策定を検討する

**Q** 学校施設は耐震化が完了し、今後は空

調も整備予定である。また、地域コミュニティの中心に位置しており、貴重な公共財産である。今後、余裕教室の発生が確実に見込まれ、早い段階で有効な活用を図るための準備が必要と考えるが。

**A** 教育長・教育部 余裕教室が生じた場合、学校教育以外の、子育てや福祉、地域防災等の施設活用も非常に有意義な方策と考えている。実態を十分に精査し、ガイドラインの策定を検討する。

災害協定先との連携を



さくら会

谷口 雄一

**Q** 協定先との実効性確保の取り組みは。

**A** 総務部・建設部 今年の秋ごろに協定先と関係部署との交流の機会を検討中である。また、協定内容や活動状況について、積極的に公表する

方向で考えている。

**Q** 災害に強いまちづくりにおいて、協定先との連携は。

**A** 市長 大災害の際は、市職員だけでは対応は限られる。多くの団体や組織との協力が重要であり、日ごろから連携と備えを十分に行い、しっかりと機能する体制づくりに取り組んでいく。



不眠不休の災害対応（山城町、萩の谷樋門付近）  
29年10月 台風21号到来時

瓶原の住民を増やす手立ては

移住促進に向け取り組む

**Q** 恭仁小学校の児童数は減っている。

**A** ①児童数の推移は。②学校運営は。③特例校、特認校、小中一貫校を考えると。

**Q** 教育長・教育部①今年度は全校児童44人、2019年度は40人、20年度38人。2学年と3学

年が複式学級となる。②加茂小・泉川中との連携や交流学习を進める。③研究課題ではあるが、小規模化は避けられない。

**Q** 瓶原地域の将来をどう考えるか。住民を増やす手立ては何か。

**A** マチオモイ 魅力発信をし、移住促進の



民主未来クラブ

炭本 範子

ため規制緩和にも挑んでいく。地域とワークショップを開催する。

観光振興をどう進める

**Q** ①おもてなし条例の制定を。②宇治茶の文化的景観を世界文化遺産登録に向け、啓発を。

**A** マチオモイ ①本来の観光地域づくりにつながらない。考えていない。②府と連携していく。

農業を元気に

**Q** 京大附属農場はトマト、柿など生産している。農家との連携を。

**A** マチオモイ 今は具体的なことはないが、農業振興につなげていきたい。農業への波及効果が現れるよう努力する。



地域のシンボル木造校舎（恭仁小学校）

「お茶の京都」成果と今後

木津川アート2018を予定

**Q** コンセプトでは、上狛地区を重点エリアとして、当尾・瓶原・ハイタッチリサーチパークをつなぐ環で回遊性を高めるとあるが効果は。

**A** 市長・マチオモイ 木津川アート、ワゴンフェスタ、上狛キャットリターンズ等盛況であ

り、魅力の発信につながった。

茶農家の新しいお茶のブランド「CHASTAR」が誕生。茶問屋ストリートは貴重な町並み。

**Q** 市長 地域の方と一緒に考えるべきでは。 市長 地域の方と一緒に考えるべきでは。

ごみを減らそう大作戦



さくら会

高岡 伸行

**Q** 食品ロスを防ぐよう、家庭での実践を伝える施策は。

**A** 市民部 削減に向けて、府民会議が開催されており、取り組みを強化したい。

**Q** 各家庭にコンポストの設置が大きな課題では。

**A** 市民部 現在、レンタルとして12基あるが、予約が詰まっており、増やす必要がある。

**Q** また、フードバンクの創設が必要では。

**A** 市民部 府民会議で議題になっており、協力し対応する。



お茶猫音楽祭（11月3日開催へうげもの茶宴inみかのほら）

**Q** 医療費適正化にか  
かる取り組みが、一  
定の指標に基づいて保険  
者として努力していると  
評価された自治体に、国  
から財政支援をする制度  
ができた。

**A** 市民部①36・7%。  
保健指導の実施率は  
12・4%。受診率向上へ、  
現在、未受診者3千人に  
再勧奨しているが、これ

## 糖尿病の重症化予防等で評価

## 保険者努力支援制度で補助金を



公明党

柴田はすみ

**Q** ①今年度から奈良北  
部図書館が利用可能  
詳細は。  
②木津中央図書館は入り  
口が狭く、駐車場も少な  
いが対策は。  
**A** 政策監・教育部①包  
括協定により、奈良  
市民と同様に利用できる。  
②認識している。何らか  
の整備を考えたい。

## 市立図書館の充実を



市民が利用しやすい図書館に



10月から利用開始を目指す奈良市北部図書館（近鉄高の原駅前）

## 奈良市北部図書館の利用開始は

## 今年10月からスタート予定

**Q** 奈良市との公共施  
設相互利用事業の取  
り組みは評価する。  
①奈良市北部図書館利用  
の内容は。  
②奈良市北部会館の図書  
館以外の機能利用は。  
**A** 政策監①利用時間は  
9時半から19時、休  
館日は月曜日。10月開始

を目指している。  
②図書館利用実績等から  
必要に応じ協議していく。  
フレックス制の導入を  
**Q** 市の財政が厳しい  
状況の中、職員給料  
一律カット対応は評価す  
る。同時に、職員のやる

気を引き出す工夫が必要。  
人事政策の見直しを提案  
する。  
①人事評価制度の状況は。  
②残業削減の取り組みは。  
③フレックスタイム制度  
を導入して、繁忙期は残  
業、閑散期は早く帰る仕  
組み、ワークライフバラ  
ンス対応が必要。



さくら会

森本 隆

④時間管理の意識向上の  
ために、時間外勤務の単  
価を15分から1分に変更  
しては。  
**A** 市長室①能力評価と  
業績評価で評価する  
仕組みを導入済。次の勤  
勉手当から反映する。  
②ノー残業デーの推進  
（毎週水・金）。  
③先進自治体を参考に検  
証する。  
④考えていない。

観光事業と観光協会のあり方

地元意識の醸成に取り組む

**Q** ①木津川アート後も経済効果を継続していく施策は。②大仏鉄道を奈良市などと連携しては。③茶問屋ストリートの街並み保全を。④観光協会の事務所がガーデンモールにあるが、メリットとデメリットは。⑤イベントや食事処やスイーツ店など、SNSを活用し、市民を巻き込んで情報発信を。

**A** マチオモイ①当尾の郷会館で、今まで関わった作家や地域と連携し、地域力の向上にしたい。②明治時代のレンガ技術など一定のストーリーを持たせ、情報発信する。



さくら会

伊藤紀味枝

る。③景観保全で地域の価値を高めるため、地元意識の醸成に取り組む。④観光消費者のマーケティング・分析などができる。観光案内はまちかど観光案内所がしている。⑤ユーザーのニーズを検証し、発信していく。

健康寿命の向上を

**Q** ①運動機能向上事業の参加状況は。②認知症カフェの状況は。③放課後子ども教室や児童の登下校の見守りに高齢者の参加を。

**A** 健康福祉部①4力所で92人。②3地区でそれぞれ6～8人参加。③高齢者も多く参加。今後も広く呼びかける。



ガーデンモール木津川にある観光協会



閉鎖操作が遅れたのは（加茂町大野樋門）

29年度事業執行は万全か

繰り越しの14件以外は完結する

**Q** ①予算執行は。繰り越しは。②北河原地区の歩道設置事業の進捗は。③繰り越しが多い原因は。④戦没者遺族等の特別弔慰金の支給結果は。⑤藍咲学園の入園状況と家庭的保育事業者の申請状況は。⑥不備な防災行政無線の改善対策と戸別

受信機の整備進捗状況とその結果は。

**A** 市長・総務部①14件繰り越す。②国と連携して用地交渉中。③地元調整等に不測の時間を要した。④府からの個別通知により510件。⑤保育は166人。教育は7人。家庭的保育事業



木津川の会

谷川 光男

申請は1件で認可審査中。⑥改善に努力。戸別受信機は現行機能の促進。

大野樋門の操作等対応は

**Q** ①台風21号時の赤田川の水防活動・監視状況は。②その時の大野樋門管理者は。

**A** 総務部・建設部①常時監視必要なしと判断し、消防団等で巡視。②府と管理の協議中。市は緊急用に鍵を預かる。

**Q** ①65歳以上の認知症は。②事前登録は。

**A** 健康福祉部①人数は不明。②SOSネットワークで実施。③見守り隊および声かけ訓練。

**Q** ①高齢者のワクチン接種はどうなっているか。  
②働いている人々への補助はあるか。  
③罹患率が一番高い年齢は何歳か。  
④子ども医療費助成で市の持ち出しを減らすため、生徒向けのインフルエン

**A** 健康福祉部他①65歳以上などを対象に定期予防接種がある。  
②勤務先・形態により、一部補助がある。  
③10歳から14歳が多い。  
④考えていない。

## インフルエンザ予防接種に補助を子ども向けは考えていない



日本共産党

西山幸千子

教職員の負担の軽減を

**Q** ①幼稚園への給食提供をめぐり混乱していたが、今後どうなるのか。  
②教職員への説明はどのようなにしたのか。

**A** 教育部①保護者向けには複数回の説明会

**Q** 就学援助を入学準備に間に合うよう支給せよ。

**A** 教育部 次年度からできるように事務作業を進めている。

就学援助の前倒し支給を

を実施。給食提供は今後も続ける。  
②校園長会で知らせた。担任等を除く教員への給食提供はしない。



初めて幼稚園給食を提供する加茂学校給食センター



耕作放棄地の活用を

## 耕作放棄地の対策は

### 農地利用最適化推進委員が進める

**Q** 市全体の耕作放棄地の筆数は。

**A** マチオモイ 1117筆。

**Q** 耕作放棄地になる原因は。

**A** マチオモイ 高齢化、労働力不足、農作物価格の低迷があり、山間部では鳥獣被害が多い。

**Q** 農地中間管理機構の活用は。

**A** マチオモイ 借り手が決まっている耕作放棄地を受け入れる事業で、実施は1件。放棄地の削減につながっていない。

**Q** 管理機構以外での削減対策は。



さくら会

山本 和延

**A** マチオモイ 28年10月設置の農地利用最適化推進委員が農地所有者と借り手のマッチングを進めている。

**Q** 農地相続人の複数化の対策は。

**A** マチオモイ 相続未登記農地は、戸籍の追跡調査を行って管理者

を特定し、利用意向調査をする。

**Q** 農地利用権の分離の実績は。

**A** マチオモイ 遊休農地の解消を行う制度で、所有者が不明と確認された場合に、知事が農地中間管理機構に対して利用権を設定する旨の裁定を行う。

現在までに、利用権を設定した事例はない。

公共施設等管理計画の進め方は

28年度末で3施設削減

- Q** 施設の廃止は、利用者の理解を得るためしっかり時間をかけたものもあるが、29年度の加茂プラネタリウム館の廃止や青少年山の家の休止は、一時的な決定の押し付けだ。
- A** 総務部・教育部 地域や関係職員には、市議会への提案と同時に伝え、理解をお願いした。決定の経過が間違っている。職員に謝罪したか。
- A** 教育部 今までの、労苦に感謝を申し上げた。



日本共産党

酒井 弘一

行政地域の副地域長

- Q** 行政地域の副地域長を無理やり1人にそろえるのはなぜか。地域の実情を考えたか。行財政改革は、財政論ばかりだ。人口減の地域や弱者への配慮が必要。
- A** 総務部・政策監 地域長が欠けたときの職務代理者が不明確という問題を解決するため。行財政改革は、簡素で効果的・効率的な組織のための改革。配慮は当然。
- Q** 地域長の職務代理者があまいというのは個々の地域の問題。
- A** 副市長 「将来制度を見直す」という議会の決議をいま実行している。



惜しまれて閉館した加茂プラネタリウム館



府の「原子力防災のしおり」

ヨウ素剤の備えは万全か

直接人体への影響は考えていない

- Q** 府は原発事故で、宮津市民の避難先を本市としているが、安定ヨウ素剤の準備は万全か。
- A** 総務部 除染処置やヨウ素剤の服用を済ませ、避難して来られるため、備蓄は考えていない。
- Q** 府は原発事故で、宮津市民の避難先を本市としているが、安定ヨウ素剤の準備は万全か。
- A** 総務部 除染処置やヨウ素剤の服用を済ませ、避難して来られるため、備蓄は考えていない。
- Q** 福島県が行った「県民健康調査」において、0歳から18歳までの子どものうち、103人が悪性甲状腺がんの診断であった。そのような対応で大丈夫なのか。
- A** 総務部 U P Z半径30 km圏ではなく、気象状況等を見極め対応。



会派に属さない

九社前 肆朗

中高一貫校の入試結果は

- Q** 文科省が、家庭環境により学力の格差差があると述べている。勉強に対する意識にも格差があると述べている。
- A** 教育部 学力の確保ができるよう、授業
- Q** PCB、ダイオキシン類、アスベストの対象施設、処分方法は、期限内に処理。学校施設のアスベストは、封じ込み対策済。ダイオキシン類はない。
- A** 総務部・市民部 P C Bは次年度で調査し、期限内に処理。学校施設のアスベストは、封じ込み対策済。ダイオキシン類はない。

負の遺産に対する対策は

の改善、補充学習の充実に取り組む。



# 5月19日(土)

## 市民と議会のつどい (議会報告会)を 開催します

市内3会場で、この「議会だより第44号」をもとに、3月定例会の内容をご報告し、市民の皆さんと意見を交換を行います。

お気軽にご参加ください。

会場・時間	担 当
市役所1階 (住民活動スペース) 9:30~11:30	片岡・河口 倉・高味 谷口・西山 森岡
加茂文化センター (第1・2研修室) 13:30~15:30	伊藤・尾崎 柴田・炭本 谷川・長岡 宮嶋
山城支所別館 (ホール) 13:30~15:30	九社前・酒井 島野・高岡 西岡・森本茂 森本隆・山本

※事前の申し込みは不要です。

※問い合わせは議会事務局まで

TEL 0774-75-1240 (直通)



10月から貸し出しができる奈良市北部図書館

ごみ有料化は中止または延期を

中止するつもりはない

**Q** ①ごみ有料で市民に混乱と不満が出る。

②今、分別の徹底が必要。

③廃プラの有料は負担を増やし、プラ容器包装ごみの分別をあいまいます。

④有料化は中止か延期を。

**A** 市民部他 ①市民説明を重ね、スムーズに進むよう取り組む。

②古紙類の分別が進む。

③分別は曖昧にならない。

④10月1日から実施する。

国保税の値上げをやめよ

**Q** ①社会保障である国保には一般会計から繰り入れを。

②短期証の朱書きは「見

せしめ」。廃止すべき。

**A** 市民部 ①本来値上げで財源確保。

②押印を取り止める。

役立つ奈良市との連携を

**Q** ①高の原駅前の図書館利用と駐輪場の月

極料金を奈良市と同じに。



日本共産党

宮嶋 良造

②イオン内の図書館は。③平城山駅への歩道を。

**A** 政策監他 ①10月から図書館の貸出ができる。

駐輪場の月極料金は協議。

②計画延期で中断した。

③費用対効果から困難。

ヒバクシャ国際署名を

**Q** 市長と教育長は市民を代表して署名を。

**A** 市長他 署名ではなく別の方法で核兵器廃絶の思いを表す。

# 組合議会報告

## 医師を増員

(山城病院組合)

2月8日、定例会開会。  
議案6件を審議。

30年度病院会計予算は、  
収益的収支で74億9826万円。資本的収支で7億9187万円。

医師数の増加による救急受け入れ、患者数の増加を見込んでいる。

**Q** 特別室の利用率は。利用者増へ向け、料金改正の検討を。  
**A** 昨年度で30%、今年度は12月末現在で14・8%。料金は検討する。

老健やましろの30年度予算は、収益的収支で5億3379万円。資本的収支で6181万円。

全員賛成で可決

## 保険料率を改定

(後期高齢者医療)

2月9日、定例会開会。  
議案5件・同意1件・請願1件を審議。

30年度一般会計予算は、  
総額9億8425万円。

収入は分担金、国・府支出金。支出は事務や事業にかかる経費。

30年度府連合医療会計予算は、総額3383億3683万円。

収入は保険料、国・府市町村の負担金、基金からの繰入金。支出は医療給付費等。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正。

内容は、均等割額4万8220円を4万7890円に、所得割率9・61%を9・39%に引き下げ、

賦課限度額は57万円から62万円に引き上げるもの。  
また、保険料軽減対象の拡充を図る。

賛成多数で可決

## 地域振興の充実へ

(加茂笠置組合)

2月14日、定例会開会。  
議案2件を審議。

30年度予算は収入支出それぞれ8040万円。

主な収入は線下補償金1252万円、財産貸付収入366万円。主な支出は財産管理費431万円、議会費100万円、一般管理費7487万円。

30年度は5年に一度の財産区特別会計繰出金に6千万円を計上。地元集会所の修繕や備品購入、

道路補修等に使用。  
29年度補正予算は、総額から143万円を減額し、2006万円とする。  
収入は線下補償金の改定による減額等。支出は議員研修の中止、嘱託職員の報酬額の変更等。

全員賛成で可決

## 加茂出張所の消防車を更新

(相楽中部消防組合)

2月19日、定例会開会。  
議案4件を審議。

人事院勧告による職員給与条例の一部改正。

手数料条例の改正は、危険物貯蔵所の設置許可申請に係る料金の見直し。

30年度予算は、総額14億2720万円。主な事業は、加茂出張所消防車の更新、女性職員採用に

伴う訓練室の改修、加茂出張所の耐震診断等。  
29年度補正予算は、人事院勧告による給料・手当の増額。  
全員賛成で可決



耐震診断を行う加茂出張所

## 大谷処理場の 長寿命化計画

(広域事務組合)

2月19日、定例会開会。  
議案5件を審議。

30年度一般会計予算は  
収入支出3億500万円。

**Q** 大谷処理場運転維持  
管理業務委託料が、前年  
比6067万円減額して  
いる。その理由は。

**A** 経年維持点検補修費  
7千万円計上していたが、  
長寿命化事業で対応。

29年度相楽地区ふるさと  
市町村圏振興事業補正  
予算は、51万円を追加し、  
1756万円とするもの。

**Q** 基金運用益の大幅増  
額の理由は。

**A** 金融機関の金利が0  
・04%から0・2%とな  
ったため。

全員賛成で可決

大谷処理場精密機能検  
査他1件の報告を受ける。

竣工後、16年が経過し  
た施設を延命化により、  
15年間維持できるのかと  
の意見があった。

## 新クリーンセンター 4月7日に火入れ式

(西部塵埃処理組合)

2月21日、定例会開会。  
議案27件を審議。

4月1日より、新管理  
者に河井規子市長、副管  
理者に木村要精華町長を  
選任。

30年度予算は、総額6  
億7359万円。収入は  
分担金・負担金が4億3  
905万円で、分担金の  
新クリーンセンター分は  
約74%。

支出は衛生費が5億4  
687万円。



火入れ式が行われた環境の森センター・きづがわ (右はごみ焼却炉)

**Q** 新センター予算の焼  
却費は1年分か。  
**A** 30年9月～31年3月

**Q** 打越台環境センター  
の公害監視委員会予算は  
60万円。新センターの環  
境監視委員会は24万2千

円であるが、なぜか。  
**A** 市の審議会委員報酬  
額に合わせた。

**Q** 打越台環境センター  
の撤去の内容は。

**A** くい撤去や土壌改  
良も含め、更地にする。

全員賛成で可決

## 30年度予算を可決

(京都地方税機構)

2月24日、定例会開会。  
議案2件を審議。

府市町議員の異動の報  
告。3人の議員が6件の  
一般質問を行った。

30年度一般会計予算。  
収入支出それぞれ22億2  
170万円とするもの。

滞納整理業務および軽  
自動車関係税申告書受付  
事務等。

賛成多数で可決

29年度一般会計補正予  
算。収入・支出それぞれ  
3億1934万円を増額。  
人件費増額や事業の最  
終見直しによる補正。

全員賛成で可決

## 議会の改革と活性化を

### 議会運営委員会

1月22日に、茨城県取手市、23日は千葉県流山市で「議会改革と議会の活性化」「議会基本条例の見直し」についてを研修。

また、ポスターやチラシに議員の顔写真を掲載することで見える化を図り、参加者を集める工夫をされている。

（取手市議会）

議会基本条例の見直しを進め、「議会報告会」を「意見交換会」へ名称変更し、参加者増を目指している。

反問権は、課長以上に与えられているが、行使しているのは市長のみ。

（流山市議会）

議会基本条例の見直しは、原則2年ごととし、既に4回の見直しが行われている。議会報告会は、4地域で開催し、市民目線のテーマを設定し、議

特に、若者世代に効果的な方法である。

議員定数は28人だが、予算および決算特別委員会の構成人数は、それぞれ8人の少人数で対応。

今回の研修先は、いずれも議会改革度ランキングではトップクラスの市である。議会改革や活性化、議会基本条例の見直しを見習いつつ、今後に生かしていきたい。



トップクラスの議会改革を学ぶ（千葉県流山市）

## 読まれる紙面づくりに向けて

### 広報編集委員会

2月6日に、兵庫県佐用町で研修。

1人でも多くの皆さんに「議会だより」が読まれる紙面づくりをするには、どうすればよいのかを目的に研修を行った。

佐用町では、読者をひきつける見出しづくりと効果的な写真の使用が実施されていること、また読みやすいことばに整えることや他町村の議会広報のよいところをまねること、初校作業から印刷業者も同席されていることは、本市との違いを知ることができた。

研修後、委員会で意見交換を行った。

主な意見

○表紙は、ソフトで温か

みを感じるものに変えていきたいと感じた。

○表紙写真は1年間のテーマを決めて、追いかけては。

○表紙写真の被写体がアップの写真が多かったのも、その形もいろいろ

では。

○市民の感想、意見を聞くためのモニターやアンケートを実施しては。○一般質問は1人1ページで非常に分かりやすかった。

広報編集委員一同、市民の皆さんに「議会だより」を手にしていただき、ページを開いてもらえように取り組んでいきたいと考えています。



活発な意見交換で研修（兵庫県佐用町）

# 議員研修会報告

議会力・議員力を高める

1月29日、議会基本条例に基づき、同志社大学大学院教授、新川達郎氏を講師に迎え、研修会を実施した。

## 研修内容

なぜ今議会が問題なのか

○地方議会が機能不全に見える。議会・議員活動への不信、議会不要論等。

議会活性化と改革への取り組み状況と課題

○決算審査における評価の活用（事務事業評価、政策評価の実施等）

○公開性の高い議会（会議の原則公開等）

○議会への住民参加（パブリックコメント、議会モニター制度等）

議会力・議員力をつける

○政策形成をする力

○政策を評価し監視する能力

○住民代表能力（コミュニケーション力）

議会活性化に向けた自己改革の要点

○住民との信頼関係を回復（市民に開かれ、住民参加の議会運営）

○政策立案機能の体制づくり（調査研究を進める体制、政策形成の支援機能の充実）

○すぐに取り組む議会活性化（議会基本条例の推進、議会改革計画の策定など）

研修を通して、最近の議会改革の状況を学ぶ中で、市民と双方でコミュニケーションを行うことの重要性、また、政策評価を行い、監視する能力、評価能力等を備え、住民との信頼関係を築くことは今後必要であると感じた。

現在、議会運営委員会でも、議会基本条例の検証を行っているところであり、これまで進めてきた議会活性化を緩めることなく、今後も取り組む決意で研修を終えた。



議会の活性化を目指して

## 平成30年 第2回(6月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
6月	1日	金	議会運営委員会（議会招集告示）	第1委員会室（5階）
	8日	金	本会議（開会） 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場（6階）
	11日	月	本会議（予備日）	議場（6階）
	12日	火	総務文教常任委員会	第1委員会室（5階）
	13日	水	厚生常任委員会	第1委員会室（5階）
	14日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室（5階）
	18日	月	グリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室（5階）
	19日	火	補正予算特別委員会	第1委員会室（5階）
	20日	水	議員定数及び議員報酬検討特別委員会	第1委員会室（5階）
	21日	木	本会議 一般質問	議場（6階）
	22日	金	本会議 一般質問	議場（6階）
	25日	月	本会議 一般質問	議場（6階）
	26日	火	本会議 一般質問	議場（6階）
	27日	水	議会運営委員会	第1委員会室（5階）
	28日	木	本会議（閉会） 議案採決等	議場（6階）
	29日	金	本会議（予備日）	議場（6階）

- ・日程については、変更となる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- ・次回議会日程の他、今までの本会議の様式や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

## 市役所に「宝箱」



新開 幸代 さん  
(木津川原田)

私は木津川市で助産所を  
開業しています。皆さん  
「宝箱」をご存知ですか。  
木津川市役所の2階に  
「子育て世代包括支援セン  
ター宝箱」が、開設されま

した。  
ここは、地域の子育て世  
代の皆さんへ、切れ目のな  
い支援ができるようにとの  
想いで設立されたものです。  
「妊娠・出産・子育て」  
で、心や体のことで悩んだ  
り、迷った時「宝箱」に行  
って相談できる。そんな場  
所です。  
一人で悩んでいないで、  
気軽に利用できるような場  
になればと思っています。

## ボランティア活動 を通して得たこと



山田 知恵子 さん  
(山城町平尾)

私は小学校の花ボランテ  
ィアに参加しています。ボ  
ランティアという大変そ  
うですが、活動を通じて花  
の知識が増えたのはもちろ

ん、学校の様子を知ったり、  
子どもたちと会話をしたり、  
お母さん達とのつながりが  
強くなったり、何より子ど  
もたちが花が咲いたことや、  
花壇の様子が変わったこと  
を喜んでくれるのが、とて  
も嬉しいことです。  
暑さ寒さの厳しい時期は  
大変なこともあります、が、  
活動によって得られた物の  
多さと思うと、いい経験を  
させてもらっていると思い  
ます。

## お知らせ

6月定例会は6月8日(金)からはじまります。  
詳しい日程は、29ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局  
までご一報ください。

議会事務局直通

0774-75-1240

0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp

# わたしの 意見

このコーナーへの投稿を  
お待ちしております。(220字以内)

## 公民館での サークル活動



川崎 稔夫 さん  
(加茂町大野)

大野区公民館では、毎週  
火曜日老人会がグラウンド  
ゴルフを行い、月1回の日  
曜日、泉長寿庵蕎麦打ちサ  
ークル6人が厨房で仲間た

ちと一日楽しく過ごしてい  
ます。  
蕎麦打ちには、蕎麦粉が欲  
しがつている適切な水の量  
を季節によって、その都度  
微妙に変えることが重要と  
言われています。3年前、  
親睦会も兼ねて、使ってい  
る福井の製粉所を一泊旅行  
で訪問し、蕎麦粉を生かす  
技術の研鑽に努めています。  
大晦日、自前の年越し蕎  
麦を家族全員で元気に食す  
ることが会の目標です。

## 編集後記

広報編集委員会では研修  
等での自治体の議会だより  
を勉強しています。

本市の特徴は、議員によ  
る原稿作成、写真撮影、校  
正が徹底されていることで  
す。特に、表紙写真は、子  
どもを中心に、市内のイベ  
ントを議員持ち回りで、現  
場の雰囲気伝えるように  
しています。  
今後も、議員自らの工夫  
と努力によって、分かりや

すい紙面になるように努め  
ていきます。  
森本 隆

## 広報編集委員会

委員長	河 口 靖 子
委員長	柴 田 は ず み
委員	谷 口 雄 一
委員	森 本 隆
委員	森 本 茂
委員	伊 藤 紀 枝
委員	西 岡 政 治
委員	酒 井 弘 一